



LEICA M10 MONOCHROM

クイックスタートガイド

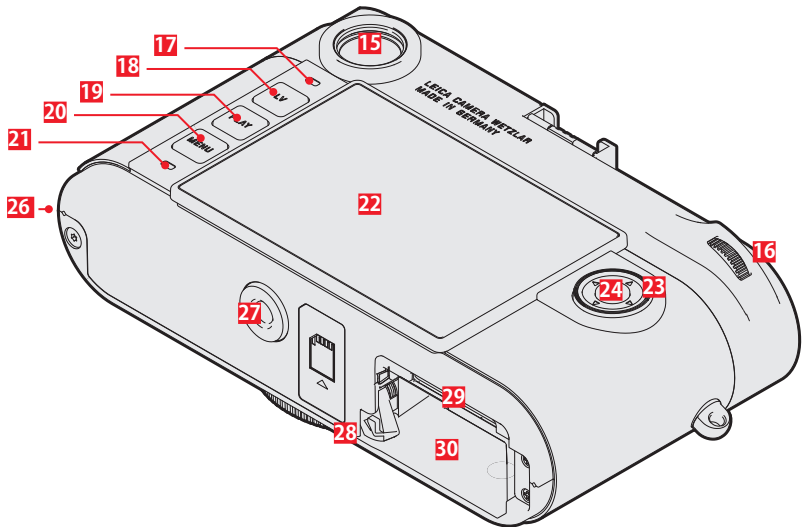
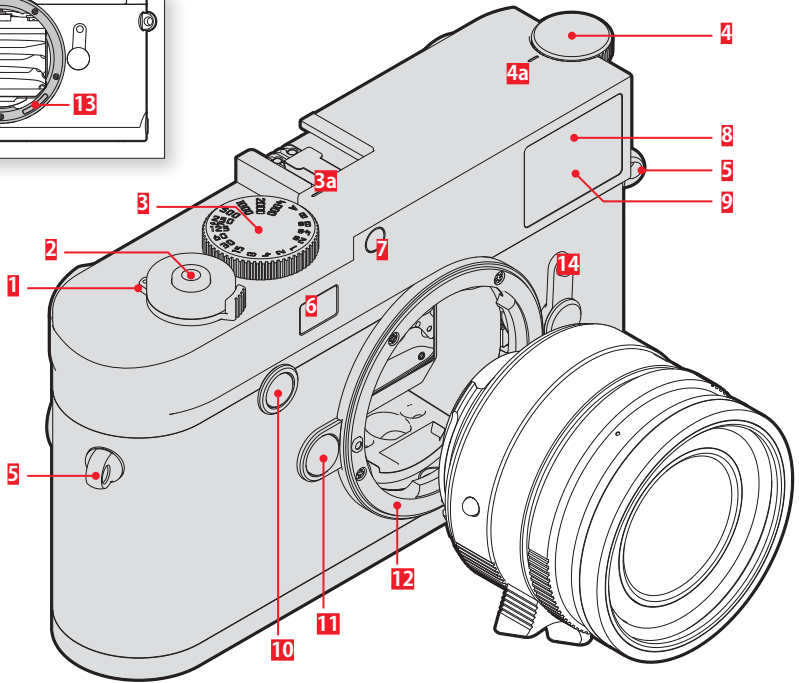
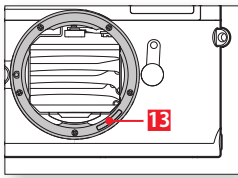


取扱説明書(詳細編)は以下のURLからダウンロードできます。

<http://jp.leica-camera.com/Service-Support/Support/Downloads>

取扱説明書(詳細編)の冊子を無料でお送りします。ご希望の方は以下のURLからご注文ください。

www.order-instructions.leica-camera.com



1 **メインスイッチ**
カメラの電源を入れる/切る

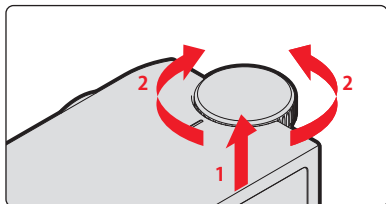
2 **シャッターボタン**
半押し:
- 測光/露出設定機能を起動
全押し:
- レリーズ
スタンバイモード時:
- カメラを再起動

3 **シャッタースピードダイヤル**
(クリックストップ付き)
- **A**: シャッタースピード自動設定
- **8s - 4000**: シャッタースピード
(1/2段ステップで設定可能)
- **B**: 長時間露光
(マニュアル操作で8秒-16分に設定可能)
- **♣**: フラッシュ同調速度 (1/180秒)

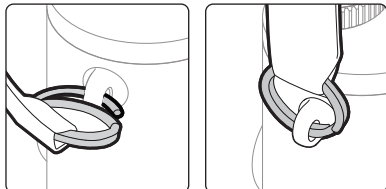
a 指標

4 **ISOダイヤル**
- **A**: ISO感度自動設定
- **160 - 12.5K**: ダイヤル上に示された値
- **M**: ISO感度マニュアル設定

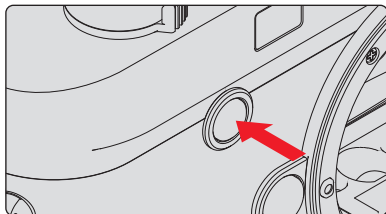
a 指標



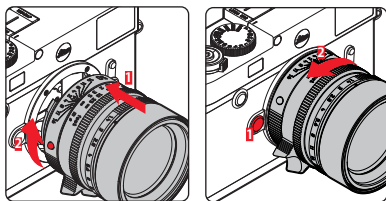
5 **ストラップ取り付け部**



6 **距離計窓**
7 **輝度センサー**
8 **セルフタイマーランプ**
9 **ファインダー窓**
10 **フォーカスボタン**



11 **レンズ着脱ボタン**



12 **レンズマウント**

13 **6ビットコード**
レンズ検出用センサー

14 **フレームセレクトター**
ブライトフレームの組み合わせ:
35/135 mm、50/75 mm、28/90 mm

15 **ファインダー**

16 **サムホイール**
メニュー内:
- メニュー内の移動
- 選択したメニュー項目/機能の設定
撮影モード時:
- 露出補正值の設定
再生モード時:
- 表示中の画像の拡大/縮小
- 再生モード時の一覧表示画面のスクロール
(PLAYボタンを押して再生モードに切換)

17 **モニター用輝度センサー**

18 LVボタン

ライブビューモードのオン/オフ

19 PLAYボタン

- 撮影モード⇔再生モードの切り換え
- 全画面表示へ戻る

20 MENUボタン

メニュー内:

- お気に入りまたはメインメニューの呼び出し
- 表示されているメニュー/サブメニューの終了

21 LEDランプ**22** モニター**23** セレクターボタン

メニュー内:

- メニュー内の移動
- 選択したメニュー項目/機能の設定

再生モード時:

- 再生モード時の一覧表示画面のスクロール

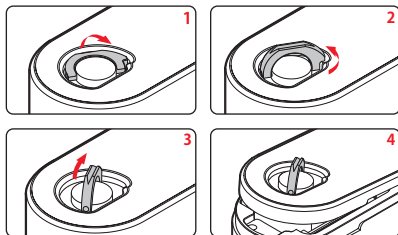
24 センターボタン

メニュー内:

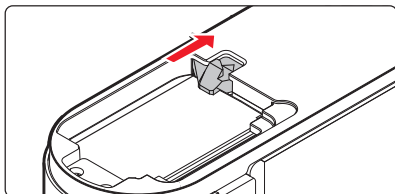
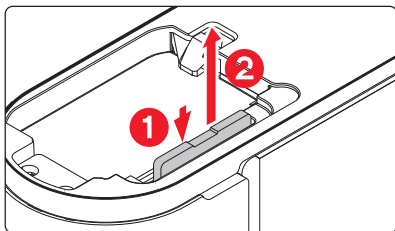
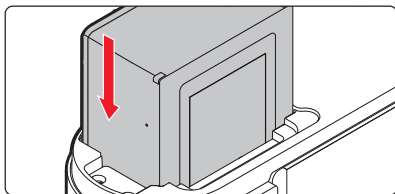
- 選択の決定

撮影/再生モード時

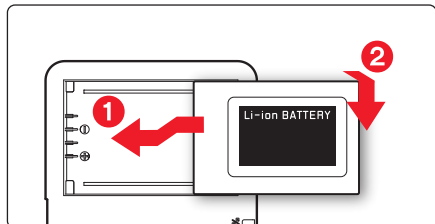
- 情報表示画面の呼び出し

25 底蓋開閉つまみ**26** 底蓋固定ピン**27** 三脚用ねじ穴

A 1/4 (1/4インチ、DIN 4503に準拠)

28 バッテリーロックレバー**29** メモリーカードスロット**30** バッテリースロット

バッテリーを充電する

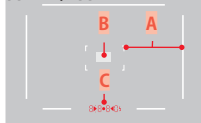


充電中はLEDランプが緑色に点滅します。充電が完了すると点灯します。

ファインダー内の表示

本機のブライトフレームファインダーは、レンズに合わせて距離計が機能する距離計連動式です。距離計と連動するレンズは、焦点距離が16~135 mm のすべてのMレンズです。

35 mm/135 mm



28 mm/90 mm

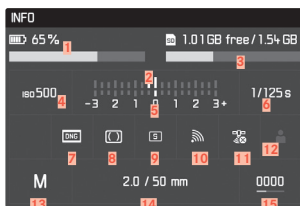


- A ブライトフレーム
- B フォーカシングエリア
- C デジタル表示

50 mm/75 mm



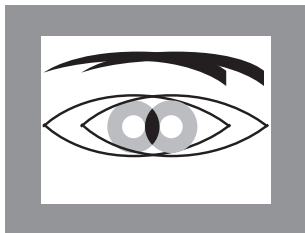
モニター上の表示



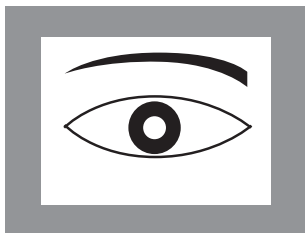
- 1 バッテリー残量
- 2 露出レベル
- 3 メモリーカード残容量
- 4 ISO感度
- 5 露出補正目盛
- 6 シャッタースピード
- 7 記録形式/圧縮率/解像度
- 8 測光方式
- 9 シャッターボタン/ドライブモード設定
- 10 WLANステータス
- 11 GPSステータス
- 12 ユーザープロファイル
- 13 露出モード
- 14 開放F値/焦点距離、またはレンズタイプ
- 15 撮影可能枚数

ピントを合わせる

二重像合致式



ピントが外れている

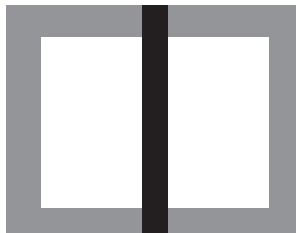


ピントが合っている

スプリットイメージ方式



ピントが外れている



ピントが合っている

タッチ操作



タッチ



ダブルタップ



スワイプ
(垂直/水平方向)



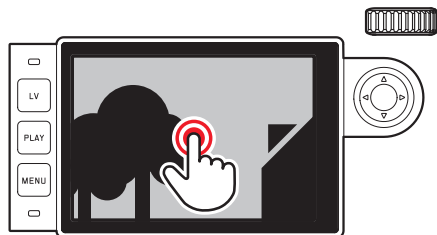
ピンチイン



ピンチアウト

撮影モード

MFアシスト(ライブビュー時)



フォーカスポイントを移動 (MFアシスト¹と測光²用)



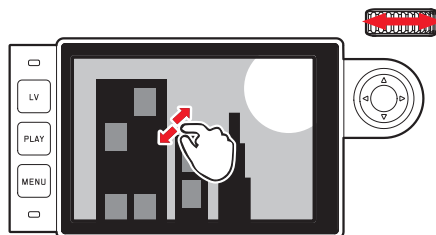
- ¹ レンズを回してMFアシストを起動
- ² スポット測光使用時

再生モード

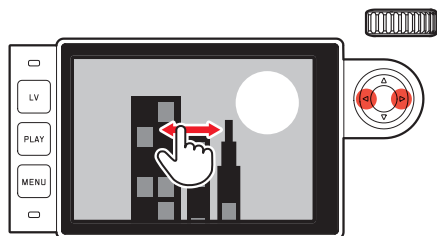
撮影モード↔再生モード(切り換え)



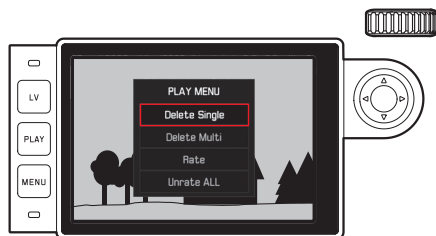
拡大/縮小表示



画像の移動



消去/レーティング



サブメニュー内で設定。

メニュー項目一覧

	初期設定 お気に入り	に登録可 お気に入り
レンズ検出		●
ドライブモード	●	●
測光モード		●
露出補正	●	●
フラッシュ設定	●	●
ISO設定	●	● M-ISO も登録可能
記録形式	●	●
JPG設定	●	● JPG記録画素数 も登録可能
シャドウ部補正		
オートレビュー		●
キャプチャーアシスタント		●
EVF/液晶画面の切替		●
ユーザープロファイル		● プロファイル読み込み も登録可能
カスタマイズ		●
ディスプレイの明るさ		●
EVF輝度		●
オートパワーオフ		●
Leica FOTOS	●	●
GPS ¹		●
日付/時刻		●
Language		●
設定リセット		●
SDカードフォーマット		●
画像番号		●
センサークリーニング		●
カメラ情報		●

¹ライカビゾフレックス(ファインダー、別売)装着時のみ登録可

テクニカルデータ

カメラ

名称

Leica M10 Monochrom

形式

デジタルレンジファインダーカメラ

型番

6376

商品コード

20050

バッファメモリー

DNG™: 10枚

記録媒体

SDカード (1~2 GB)、SDHCカード (32 GB以下)、SDXCカード (2 TB以下)

材質

本体上面、底蓋: 真鍮製、ブラッククローム仕上げ
本体前面/背面: マグネシウム

レンズマウント

ライカ Mマウント

対応レンズ

ライカMレンズ、ライカRレンズ (アダプター装着時のみ)

動作環境

0~40° C

寸法

139 mm x 38.5 mm x 80 mm

質量

約675 g (バッテリー含む)

撮像素子

センサーサイズ

モノクロCMOSイメージセンサー
有効面積 約24 x 36 mm

解像度 (静止画)

DNG™: 7864 x 5200 画素 (40,89 MP),
JPEG: 7840 x 5184 画素 (40,64 MP), 5472 x 3648
画素 (20 MP), 2976 x 1984 画素 (6MP)

ファインダー/モニター

ファインダー

大型ブライトフレームレンジファインダー
(パララックス自動補正機能付き)

モニター

3.0型 TFT 液晶モニター (タッチパネル)、
画素数: 1,036,800ドット

その他

ワイヤレスLAN

ワイヤレスLAN機能を使用するには、アプリケーション「Leica FOTOS」が必要です。Google Play Store™または、Apple App Store™でダウンロードできます。IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル) に準拠、1-11チャンネル、暗号化方式: Wi-Fi互換性 WPA™/WPA2™、アクセス方式: インフラストラクチャーモード

表示言語

英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、日本語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、ポルトガル語

電源

バッテリー (ライカBP-SCL5)

充電式リチウムイオンバッテリー
定格電圧7.4 V、容量1100 mAh; 最大電力/電圧: DC 1000 mA、7.4 V; 動作環境 (カメラ内): 0° C~40° C; 製造: PT. VARTA Microbattery、インドネシア製

バッテリーチャージャー (BC-SCL5)

入力: AC 100~240 V、50/60 Hz、300 mA、自動切り換えまたはDC 12 V、1.3 A; 出力: DC 7.4 V、1000 mA/最大 8.25 V、1100 mA; 動作環境: 10° C~35° C; 製造: Guangdong PISEN Electronics Co. Ltd., 中国製

注意事項

一般的な取り扱い

- 強い磁気、静電気、電磁波を発生する機器（電磁調理器、電子レンジ、テレビ、パソコンのモニター、ゲーム機、携帯電話、無線機など）の近くで使用しないでください。磁気により記録データが影響を受けることがあります。
- スピーカーや大型の電動モーターなどの強い磁気により、保存した画像データが破損することがあります。
- 電磁波の影響で、本製品が正常に動作しなくなった場合は、バッテリーを入れ直してから再度電源を入れてください。
- 無線送信機や高圧線の近くで使用しないでください。磁気により記録データが影響を受けることがあります。
- 小さな付属品（アクセサリースューカーバーなど）を保管するときは、次の点にお気をつけください。
 - 乳幼児の手の届くところに置かない。
 - 製品パッケージの所定の位置など、紛失しない場所に保管する。
- 電子機器は、人体に帯電した静電気の影響で不具合を起こす場合があります。合成繊維のカーペットの上を歩くなどすると、人体に大量の静電気が帯電します。導電性があるものの上に本製品が置かれていた場合は、本製品に触れると静電気放電がおこります。静電気が電子回路内に入らなければ、問題ありません。本製品は安全回路を装備していますが、安全のためアクセサリースューカーなどの端子部には手を触れないでください。
- レンズマウントのレンズ検出センサーを傷つけたり汚したりしないでください。また、マウント部を傷つけるおそれがあるため、砂などがマウント部に入り込まないようにお気をつけください。お手入れの際は、これらの部分を絶対にぬらさないでください。（システムカメラ使用時）
- 端子部をお手入れする際は、綿やリネンの布をご使用ください。レンズ用のマイクロファイバークロス（合成繊維）は使用しないでください。お手入れの前には、水道管などに触れて静電気を放電してください。また、端子部の汚れやさびつきを防ぐために、レンズキャップやアクセサリースューカーを取り付けて、乾いた場所で保管してください。（システムカメラ使用時）
- 指定されたアクセサリ以外は使用しないでください。故障、感電、ショートの原因になります。
- 本製品を分解・改造しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにて専門の修理担当者にご依頼ください。
- 殺虫剤などの強い化学薬品をかけないようにしてください。お手入れの際は、軽油、シンナー、アルコールも使用しないでください。薬品や溶剤によっては、本体表面が変質したり、表面の加工が剥離することがあります。
- ゴム製品やビニール製品は、強い化学物質を発生することがありますので、長期間接触させたまましないでください。
- 雨や雪の中、または浜辺などで使用するときは、内部に水滴や砂、ほこりなどが入り込まないようにお気をつけください。レンズ交換（システムカメラ使用時）やメモリーカード/バッテリーの出し入れの際は特にお気をつけください。砂やほこりが入り込むと、本製品、メモリーカード、バッテリーの故障の原因となります。水滴が入り込むと、カメラやメモリーカードが正常に動作しなくなったり、修理できなくなることがあります。

レンズ

- レンズの正面に強い太陽光が当たると、レンズがルーペと同じ作用をします。太陽光とレンズの作用により内部が破損しますので、レンズを保護せずに強い太陽光に向けたまま放置しないでください。
- レンズキャップを取り付け、日陰に置く、またはケースに収納するなど、強い太陽光が当たらないようにしてください。

バッテリー

- 指定以外のバッテリーを使用したり、本書の説明に従わずに使用しないでください。破裂するおそれがあります。
- バッテリーを直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、濡れた場所に放置しないでください。また、電子レンジや高压容器に入れないでください。破裂や発火の原因となります。
- 濡れたバッテリーや湿ったバッテリーは、絶対に使用したり充電したりしないでください。
- バッテリーには安全弁が付いています。誤った使い方により内圧が上昇した場合、安全弁によって圧力が低下します。膨張したバッテリーは爆発するおそれがあるため、廃棄規則に従って、すぐに処分してください。
- バッテリーの端子部は清潔に保ってください。バッテリーがショートするおそれがあるので、端子部をクリップやアクセサリなどの金属類と接触させないでください。ショートしたバッテリーは発熱することがあり、やけどをするおそれがあります。
- バッテリーを落とした場合は、外装や端子部に破損がないか確認してください。破損したバッテリーを使用すると、カメラが故障するおそれがあります。
- バッテリーの使用時や充電中に、異臭、変色、変形、発熱、漏液などの異常に気づいた場合は、カメラやバッテリーチャージャーから直ちに取り出してください。そのまま使用や充電を続けると過熱して、破裂や発火の原因となります。
- バッテリーは絶対に火の中に投げ入れないでください。破裂の原因となります。
- バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火するおそれがあります。
- 指定以外のバッテリーチャージャーを使用すると、バッテリーの故障の原因となるだけでなく、最悪の場合は死亡または重傷を負うおそれがあります。
- バッテリーチャージャーを使用するときは、コンセントの周りにほこりがたまっていないか確認してください。
- コンセントでバッテリーを充電しているときは、絶対にカーアダプターをバッテリーチャージャーに接続しないでください。
- バッテリーおよびバッテリーチャージャーを分解しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにご依頼ください。
- バッテリーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合、窒息のおそれがあります。

バッテリーチャージャー

- バッテリーチャージャーを無線受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。無線受信機から1 m以上離れてお使いください。
- 充電中に音がすることがありますが、異常ではありません。
- バッテリーを充電していない場合でも、コンセントに差し込んだままにしておくと、微量の電力を使います。使用しないときはコンセントから抜いてください。
- 端子部は清潔に保ってください。また、絶対にショートさせないでください。
- カーアダプターは12 Vの電圧にのみ接続できます。またコンセントでバッテリーを充電しているときは、絶対にカーアダプターをバッテリーチャージャーに接続しないでください。

メモリーカード

- 画像の読み込み中や書き込み中は、メモリーカードを本機から取り出したり、本機の電源を切ったり、本機に振動を与えたりしないでください。
- LEDランプが点滅しているときは、カメラがメモリーカードにアクセス中です。バッテリー/メモリーカードスロットカバーを開けたり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりしないでください。メモリーカードに記録したデータが破損したり、カメラが故障したりするおそれがあります。

- ・ 落としてたり曲げたりしないでください。破損して記録データが消失する原因となります。
- ・ メモリーカードの裏にある端子部に触れないでください。また、汚れやほこりが付着したり、水でぬらしたりしないようにご注意ください。
- ・ メモリーカードは乳幼児の手が届かない場所に保管してください。乳幼児がメモリーカードを飲み込んで窒息するおそれがあります。

撮像素子

- ・ 宇宙線の影響により(航空機内に持ち込んだ場合など)、画素に異常が生じることがあります。

キャリングストラップ

- ・ カメラの落下を防ぐため、キャリングストラップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- ・ キャリングストラップは丈夫な材質によって作られています。乳幼児の手の届かないところに保管してください。首に巻きつくなど、事故につながるおそれがあります。
- ・ キャリングストラップは、カメラまたは双眼鏡を持ち運ぶ目的でのみご使用ください。傷害の原因となる可能性があるため、他の用途では絶対に使用しないでください。
- ・ キャリングストラップが引っかかり、首が絞まるおそれがあり危険なため、登山やアウトドアスポーツの際には使用しないでください。

三脚

- ・ 三脚を使用するときは、三脚の強度をご確認の上、カメラ本体ではなく三脚の方を回して取り付けてください。
- ・ 三脚を取り付ける際は、三脚のねじを回しすぎたり、無理な力を加えないようご注意ください。
- ・ また、カメラを三脚に取り付けたまま持ち運ばないでください。けがをしたり、カメラを破損する恐れがあります。




フラッシュ

- ・ 本製品に適合していないフラッシュユニットを使用した場合、カメラおよびフラッシュユニットが破損する恐れがあります。必ず使用前にご確認ください。

カメラ情報

本製品の認証情報は、設定メニューから確認できます。

- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- ▶ サブメニューで**認証情報**を選択する。

 交流電流 (AC)	 クラスIIデバイス (これらの製品は二重絶縁で設計されています)
 直流電流 (DC)	



電気・電子機器の廃棄について

(EU諸国および分別廃棄を実施するその他のヨーロッパ諸国のみ)

この装置には電気・電子部品が含まれているため、一般家庭廃棄物として廃棄することはできません。お住まいの自治体のリサイクル協力店にご相談ください。回収は無料となっています。電池や充電電池を使用する装置を廃棄する場合は、電池や充電電池を取り外してから回収場所にお持ちいただくか、必要に応じてお住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

廃棄についての詳しい情報は、お住まいの自治体、お近くの廃棄物回収業者、またはご購入店にお問い合わせください。

保証

販売店に対するお客様の法律に基づく保証の請求権は、ライカ正規販売店で本製品をお買い上げいただいた日から発生します。保証書は以前、付属品として製品に同梱していましたが、新たなサービスとしてオンラインにて提供することとなりました。これによりいつでも簡単に保証内容の確認等ができます。このオンラインサービスは保証書が付属品として同梱されていない製品にのみ有効です。製品に同梱されている保証書は引き続き有効です。保証の適用範囲、保証内容、制限事項に関して詳しくは、以下のホームページにてご確認ください。warranty.leica-camera.com

„この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B“